

【報告事項】

2019年（令和元年）事業報告

2019年（令和元年）事業報告書

（平成31年1月1日～令和元年12月31日）

SL 災害ボランティアネットワーク（以下、本法人）は、大規模地震等の災害に備えて、自主的な防災活動、被災地支援活動を行い、災害の被害を軽減することを目的に活動している。2019年は以下の事業を行ったが、特筆すべき事柄は次の2点。

1. 長年にわたり千葉市にて地域防災の普及・防災体制の整備に大きな貢献をし、また被災地での支援活動などを行ったとして「千葉市 SL ネットワーク」が令和元年度防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞した。
2. 9月9日に上陸した台風15号・10月12日に上陸した台風19号・10月25日からの豪雨災害において、本法人では地域組織のある千葉県、ならびに川崎市等にて長期にわたる支援活動を行った。

1. 地域・職場・学校等での自主的な防災活動事業

① 自主活動～地域ネット活動

各地域ネットでは地域の事情に応じて定例会（月1回・隔月）を開催し、会員の防災知識と技能維持向上を図るため、勉強会・技能訓練を行った。また千葉県および埼玉県では、地域ネット代表者からなる県地区運営委員会を隔月で開催し、各地域の情報交換と県ネットの年間活動計画等を策定、それを実行した。

また SL 会員は所属する地域ネットにて学校や社会福祉協議会（以下、社協）、他団体とともに防災教育をはじめ、防災・減災の普及啓発活動を実施した。

② 防災訓練の指導と訓練参加

九都県市合同防災訓練、並びに各自治体の総合防災訓練へ参加し、日頃の訓練の成果を発揮した。

特に、第40回九都県市合同防災訓練千葉県会場（船橋市）では、SL が災害ボランティアセンター（以下、災害 VC）訓練を視察した政府調査団の対応をするなど大きな役割を果たした。

また、地域等の防災訓練で使用するため非常用炊出袋の頒布を行った。

③ 受託事業の実施

地域、社協、行政から委託を受け、企画・運営した主な事業は次の通り。

船橋市受託事業として船橋市地域防災リーダー研修を実施した。また神奈川県教育委員会受託事業として神奈川県立高校13校と、小中高特別支援学校の教員を対象に DIG^{※1}を実施した。

※1. Disaster（災害）、Imagination（想像力）、Game（ゲーム）の頭文字をとった災害図上訓練のこと。

2. 災害時における被災地支援事業

【台風15号・19号・10月25日からの豪雨災害】

- ・ 千葉県では、9月9日発生の台風15号から10月25日発生の豪雨災害に至るまで、連続した台風大雨災害に見舞われた。本法人は主に千葉県災害 VC および、南房総市、富津市、長柄町での災害 VC の運営支援活動を行った。また上記以外にも SL 各自が県内で支援活動を行った。
- ・ 台風19号災害では、川崎市災害 VC の運営支援を行った。その他、SL が相模原市、佐野市、東松山市などでボランティア活動を行った。

3. 会員の知識と技能向上のための教育訓練事業

① 自主企画のセミナーの開催

会員による自主的なセミナー、防災談話室を次の通り実施した。

- ・ SL 企画セミナー第5弾「指導者のための DIG 演習」・・・9/30・10/7・10/21 の全3回

- SL 企画セミナー第 6 弾「初心者のための DIG 演習」・・・12/2・12/17・12/18 の全 3 回
 - SL 防災談話室@mansion・・・1/16・3/13・5/8・7/10・9/11・11/13 (奇数月第 2 水曜定例開催)
- ② リーダー及びインストラクターを育成する事業
- 神奈川県教育委員会の受託事業である DIG 事業への講師・ファシリテーターを派遣できるよう本法人独自の養成プログラムである「初心者のための DIG 演習」を昨年に引き続き実施。本年は、更に「指導者のための DIG 演習」を開催し、その修了者が受託事業に関わることで連続性のある人材育成を行った。
- ③ 見学会、講演会、等の実施
- 地域を超えた会員の相互交流・親睦を図るため、県域での交流会・野営訓練等を行った。
- 6 月 23 日には第 3 回 SL 全体ミーティングを開催し、「災害に備えて私たちの行動を考えよう」と題したワークショップを実施した。
 - 千葉県では春季研修 (5 月) に「防災の視点から千葉県を見る」講演会を行った。
 - 埼玉県では 8 月に日本工業大学にて救命講習の指導にあたった他、共栄大学主催の「こども大学」にて防災ワークショップを実施した。
 - 神奈川県では 4 月 5 月にかながわ・よこはま防災ギャザリングを実施した。
 - 9 月 15 日 16 日には東京都主催「わくわくみんなでぼうさいフェスタ 2019」に出展した。
 - 10 月 29 日 30 日と京王プラザホテルにて「住環境・生活環境/アレルギー EXPO2019」へブース出展し「災害時の食」をテーマに来場者へ非常用炊出袋の頒布や防災の普及啓発を行った。

4. 災害救援ボランティアリーダーを育成する事業等への協力

災害救援ボランティア推進委員会が主催する「災害救援ボランティア講座」等への講座運営を支援し、社団活動の説明を行い、新規会員の確保を行った。本年はいちはら市民大学防災コース (新設) を SL 養成講座として開催し、市原 SL ネットが運営に協力した。

5. その他、目的達成に必要な事業

- ① 理事会の開催および運営等
- 理事会を 8 回開催 (2/1、3/1、4/5、7/5、9/6、10/15、11/1、12/5) した。
- 正会員数は 661 人 (12 月末現在)
- ② 運営委員会の開催および運営等
- 東京・神奈川・千葉・埼玉から選出された委員で構成する運営委員会では、毎月 1 回定例会を開催し、横断的な情報交換、事業の企画・運営を話し合った。
- ③ 広報啓発事業
- 災害救援ボランティア推進委員会が年 6 回発行している会員向け広報紙「SL NewsLetter」の編集・発送に協力した。またホームページ並びにフェイスブックを運用し、広報周知を図った。
- ④ 関係団体との連携事業
- 千葉県では、千葉県災害ボランティアセンター連絡会に、埼玉県では「彩の国会議」に、神奈川県では、県民センター支援室会議に参加協力した。また、シェイクアウト提唱会議と協力して、自治体でのシェイクアウト訓練の普及活動を行った。
- ⑤ 寄付金募集
- 本法人の財政基盤の強化と活動促進のために広く寄付金を募り、SL 活動と災害対応積立金に充てた。(詳細は寄付金報告書を参照)

以上

(参考資料)

寄付金報告

寄付期間：2019年1月1日～2019年12月31日

2019年の寄付金は、12月31日現在で、合計595,000円（111件）が集まりました。集まった寄付金は、災害対応積立金に30万円、残りの295,000円はSL活動費用に充てました。詳細は下記の通りです。

【受取寄付金】

項目	口数	金額	摘要
会員寄付金	110	495,000	SL会員からの寄付金
一般寄付金	1	100,000	外部一般からの寄付金
合計金額	111	595,000	

【事業支出】

項目	金額	摘要
SL活動費用	295,000	

【積立金】

災害対応積立金	300,000	指定正味財産へ積立
---------	---------	-----------

以上